

医学系研究に関する情報公開

福島県立医科大学呼吸器内科学講座では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2021年5月 福島県立医科大学医学部呼吸器内科学講座 柴田陽光

【研究課題名】間質性肺炎合併肺癌に対する化学療法の有効性と安全性の検討

【研究期間】2021年5月（倫理委員会承認後）から2022年3月31日

【研究の意義・目的】間質性肺炎合併肺癌に対する有効かつ安全な化学療法レジメンについては確立していないのが現状です。さらに近年では軽度の間質性肺炎でも化学療法による間質性肺炎の急性増悪のリスクになると報告されていますが、軽度の間質性肺炎が間質性肺炎として認識されていないとの報告もあります。今回我々は以下の点を明らかにするために研究を行います。

- 福島県立医科大学附属病院呼吸器内科で化学療法を行った間質性肺炎合併肺癌症例の実態を調査し、間質性肺炎合併肺癌の頻度について明らかにします。
- 化学療法開始前の胸部CTを検討し、間質性肺炎と診断されなかった間質性陰影が急性増悪のリスクとなるか検討します。
- 治療レジメンごとの急性増悪の頻度を明らかにします。
- 治療レジメンごとで、間質性肺炎合併肺癌に投与した際の間質性肺炎急性増悪の頻度に差があるか検討します。
- これらの検討を通じて間質性肺炎合併肺癌において安全かつ最適な治療レジメンの選定に寄与することを目指します。

【研究の対象となる方】

福島県立医科大学附属病院呼吸器内科で2014年1月から2021年3月までに化学療法を実施した肺癌患者さん。

【研究の方法】

対象患者のカルテから、以下の項目を抽出し解析を行います。

- ・ 年齢
- ・ 性別
- ・ 喫煙歴
- ・ 肺癌の組織型・病期
- ・ 肺癌の薬物療法開始時の全身状態
- ・ 初診時のCT所見
- ・ 間質性肺炎の診断（特発性間質性肺炎か二次性か）
- ・ 検査データ，呼吸機能検査
- ・ 肺癌の薬物療法ごとの間質性肺炎急性増悪の頻度
- ・ 間質性肺炎の急性増悪の有無と程度
- ・ 間質性肺炎以外の有害事象の有無と程度
- ・ 間質性肺炎の有無による治療効果（奏効率，無増悪生存期間，全生存期間）

【研究組織】

	(所属)	(職)	(氏名)
研究責任者	呼吸器内科学講座	教授	柴田陽光
研究分担者	呼吸器内科学講座	助教	峯村浩之
	呼吸器内科学講座	准教授	谷野功典
	呼吸器内科学講座	助手	梅田隆志

呼吸器内科学講座	講師	金沢賢也
呼吸器内科学講座	助教	二階堂雄文
呼吸器内科学講座	助手	佐藤佑樹
呼吸器内科学講座	助手	東川隆一
呼吸器内科学講座	助手	河俣貴也
呼吸器内科学講座	助教	鈴木康仁
呼吸器内科学講座	助手	力丸真美
呼吸器内科学講座	助手	森本樹里亜
呼吸器内科学講座	後期研修医	齋藤美加子
呼吸器内科学講座	後期研修医	富田ひかる
呼吸器内科学講座	講師	斎藤純平

【他の機関等への試料等の提供について】
無し。

【本研究に関する問い合わせ先】

本研究に関する御質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1
公立大学法人福島県立医科大学医学部呼吸器内科学講座 担当 峯村浩之
電話:024-547-1360 FAX: 024-548-9366
E-mail: hiromine@fmu.ac.jp

【試料・情報の利用を望まれない場合の連絡先】

試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者ご本人又は代理人の方に御了承いただけない場合には、研究対象者とはせずに試料・情報の利用、提供をいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人又は代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果が既に医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取消すことは困難な場合もあります。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1
公立大学法人福島県立医科大学医学部呼吸器内科学講座 担当 峯村浩之
電話:024-547-1360 FAX: 024-548-9366
E-mail: hiromine@fmu.ac.jp